

氏名	浅川泰宏	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	文化人類学、民俗学、宗教学				
学位	博士（社会学）				
学歴	1997年3月慶應義塾大学総合政策学部卒業、2000年3月慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了、2003年3月慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得退学				
経歴	2008年4月埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2013年4月埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本文化人類学会、日本民俗学会、日本宗教学会、「宗教と社会」学会、徳島地域文化研究会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	第1回例会コメント（テーマ発表「藩と旅研究」に対して）	共同	交通史学会2021年度第1回例会、Zoom	○原淳一郎、○中野達哉、○高橋陽一、○浅川泰宏	2021.7	
2	人生の最終段階に向けた医療・ケアの意思決定に関する住民調査～埼玉県A市における横断的調査の結果から～	共同	日本エンドオブケア学会第4回学術集会、オンライン開催	○山口乃生子、會田みゆき、山岸直子、畔上光代、河村ちひろ、星野純子、浅川泰宏、佐瀬恵理子、島田千穂	2021.9	
3	日常から聖地に参るーリモート巡礼の現在ー	単独	日本民俗学会第73回年会、横浜市・Zoom	○浅川泰宏	2021.10	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	交通史学会2021年度第1回例会報告	単著	『交通史研究』第99号	○原淳一郎、○中野達哉、○高橋陽一、○浅川泰宏	2021.10	
2	書評「原淳一郎著『近世の旅と藩ー米沢藩領の宗教環境』」	単著	『日本歴史』2022年2月号	○浅川泰宏	2022.2	
3	「四国遍路と世界の巡礼～愛大研究センター通信：寶頭盧尊者像の比較巡礼論」	単著	『月刊へんろ』2021年5月号	○浅川泰宏	2021.5	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		オンライン化がもたらす巡礼文化の変容に関する宗教民俗学的研究	研究代表者	2021.4～2025.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）		霊場資料学の構築と霊場文化の解明による四国遍路の総合的研究	研究分担者	2020.4～2025.3	
3	日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		地域資源を活用した住民による家族参加型アドバンス・ケア・プランニング研修の効果	研究分担者	2020.4～2023.3	
4	2021年度サントリー文化財団研究助成「学問の未来を拓く」		日本の伝統文化『折る・結ぶ・包む』で知る立体の手触り	研究分担者	2021.8～2022.7	
5	埼玉県立大学奨励研究費A		聖年における巡礼文化の創造と再構築	研究代表者	2021.4～2022.3	
6	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト A-2		人生の最終段階に向けた医療・ケアに関する住民の意思表明プロセスを推進する研修プログラムの開発	研究分担者	2020.4～2022.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	文化人類学	○	15	異文化理解やフィールドワーク、巡礼、祝祭について講義した。Zoom上でのディスカッションやGoogleマップを利用した学修成果の地図化などを取り入れ、履修者同士の「つながり」を促進させた。
2	民俗学	○	15	年中行事や民俗宗教などの日本の民俗について講義した。地域の民俗を取り入れた七夕飾りの作成を課題とし、学修成果をZoom上の発表会形式で公開するなど、学生の主体的な学びを促した。
3	宗教学	○	15	死者供養、他界観、巡礼などの宗教文化について講義した。NHKの地域動画サイト「みちしる」を活用して、宗教文化についての学生の主体的な学びを促した。
4	埼玉研究	○	8	「民俗学」「生物学」「居住福祉」「地学・地理学」「化学・環境学」の視点から地域を考察するオムニバス講義を運営した。学修成果を発表するポスターセッションをオンラインで実施した。
5	総合文化研究A	○	8	日本の巡礼文化について、四国遍路、観音巡礼、移し巡礼、アニメの舞台探訪などを事例に考察した。
6	教養ゼミナール	○	15	オンラインでゼミを運営した。年中行事と食の民俗をテーマとし、春夏秋冬の4グループで年中行事と関連づけたお弁当の提案を指導した。
7	人間の探求		8	生物学(小林教授)と文化人類学の視点から人間像の多様性についての講義を行った。また性の多様性について、文化人類学・民俗学の立場からの話題提供を行った。
8	スタートアップ・セミナー		15	オリエンテーションとキャンパスツアーの教材作成を担当した。またPBLテュートリアル形式でのグループ学習を支援した。
9	助産業務管理		1	「わが国の産育習俗」を担当した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	副指導
			名	名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	明治大学情報コミュニケーション学部兼任講師	2021.4~2021.9	宗教学を15コマ担当した。オンデマンド方式の講義で掲示板を活用することで双方向性を確保した遠隔授業を実施した。	
2	晃陽看護栄養専門学校非常勤講師	2021.4~2021.6	社会学を15コマ担当した。講義動画を送信し、学生の課題と質問は郵送で対応する形での遠隔授業で実施した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	かわさき市民アカデミー『聖地巡礼』	認定NPO法人かわさき市民アカデミー	四国遍路一ふたつの弘法大師像をめぐって	2021.7
2	イオンスタイルせんげん台特別講演会	イオンスタイルせんげん台店・埼玉県立大学	せんげん台・越谷 新発見/再発見 ～ガーヤちゃんの町自慢 弁当ができるまで～	2021.11
3	一般公開講座	埼玉県立大学	埼玉県立大学のオンライン聖地巡礼	2022.3

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県立保健医療福祉学会	編集委員	2018.4～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	イオンスタイルせんげん台店	イオンスタイルせんげん台店と埼玉県立大学のコラボ企画お弁当「鴨ねぎご飯と2種のクロquette弁当」商品化	2021.11
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター所員		2019.4～現在
2	学科等における委員会等	教養科目担当者会会長		2019.4～現在
3	学生支援	サークル顧問 (埼玉医ゼミ-いろどり-)		2021.4～現在
4	大学広報活動	つなぐ～県大の輪～ vol.1 「埼玉県立大学と地域社会」紹介記事		2022.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			